

記入例【申請する全ての方】

※お願い

ボールペン等で記入してください。

えんぴつやインクが消えるボールペンは使用しないでください。

年 月 日

学校へ提出する年月日
を記入してください。

北海道公立高校生等

保護者等の氏名を記入してください。

「口座振込申出書」と同じ名前・住所になります。

【1. 申請者について】

ふりがな		申請者の電話番号
申請者氏名	北海 一郎	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
申請者住所	〒060-8544 北海道札幌市 北区 中央区北3条西7丁目	
高校生等との関係	親権者 ・ 未成年後見 本人 ・ その他 ()	

※専攻科の場合、「親権者」とあるのは「父母」

訂正する場合は二重線で消してください（訂
正印の押印は不要です）。

【2. 対象となる高校生等について】

ふりがな	ほっかい たろう		昭和 平成 令和	〇	年	〇	月	〇	日
氏 名	北海 太郎								
在学する学校	学 校 名	北海道〇〇高等学校							
		国 立 ・ 公 立 学校 第 2 学年（年次）							
		学校の種類・課程・学科：高等学校（全日制）							
	学校の所在地	北海 都道府県 〇〇 市区町村 〇〇〇〇							
	在学期間	令和5年4月1日 ～ 現在 (年 月 日)							
奨学給付金 受給回数	0 回（昨年度までに奨学給付金を受給した回数）								
過去の高等学校等 における在学期間	学校名	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数					
	〇〇県立〇〇高等学校		高等学校(全日制)	なし 1回 2回 3回 4回 不明 ☒ ☐ ☐ ☐ ☐					
			の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数					
				なし 1回 2回 3回 4回 不明 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐					
☐ 申請書に提出する。必ず確認し、レ印を記入してください。 ※ 給付を受けるためには、翌月1日に在学している必要が									

【3. 同意事項】

申請書の提出に当たり、次の事項について同意します。（次の内容を確認の上、□全てにレ印を付けてください。）

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載があった場合は、北海道の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は北海道の求めに従い、全ての項目に該当することを確認の上、レ印を付けてください。
- ☒ 高等学校等就学奨励費支給世帯の状況、生活保護の受給状況、道府県民税所得割及び教育委員会教育長及び教育局長が必要と認める事項について調査を行うことに同意します。
- ☒ 保護者等（生計維持者）又は高校生等が、この給付金とその目的を同じくする北海道が実施する次の給付金は給付されていません。
- (1) 高等学校定時制課程教科書給与事業及び通信制課程教科書学習書給与事業
- (2) 北海道アイヌ子弟進学奨励補助制度
- ☒ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生を除く。））の支弁対象者ではありません。

次のいずれかの該当箇所に必ずレ印を記入してください。

※ その他の場合は、（ ）に事由を記載してください。

☐	失職のため
☒	倒産のため
☐	その他（ ）

※ 提出後、収入の増額、再就職や結婚などで年収見込額等に変更があった場合は、速やかに学校等に申し出てください。

次のいずれかの該当箇所に必ずレ印を記入してください。

①～⑥に記載のある方の確認書類を提出してください。

ア 保護者の家計の状況の確認書類を提出します。

①	☒	保護者(親権者) 2名
②	☐	保護者(親権者) 1名 ・離婚、死別等による保護者(親権者)が変更される場合など。 ・(専攻科のみ) 満年齢の場合、そのほか社会福祉施設等に入所している場合など。
③	☐	未成年後見人() ・親権者が存在せず ※ 未成年後見人がいない場合、その者を除く。
④	☐	生徒の生計をその保護者(親権者)が支えている場合 ・生徒が在学中に成人している場合
⑤	☐	主たる生計維持者() ・親権者又は未成年後見人 ・成年に達している場合
⑥	☐	生徒本人 ・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

⑥ 次の①～④全ての項目の確認書類の提出が必要になります。

① 保護者等の家計急変の発生事由を証明する書類
※ 離職票、雇用保険受給者証、解雇通告書、破産宣告通知書、廃業等届出 等

② 家計急変前の収入を証明する書類
※ 課税証明書の写し 等

③ 家計急変後の収入を証明する書類
※ 会社作成の給与見込、直近3ヶ月の給与明細、税理士及び公認会計士の作成した書類 等

④ 保護者等の扶養親族の人数・年齢を確認できる書類
※ 健康保険証の写し(扶養親族全員分)、課税証明書(扶養親族全員記載に限る) 等

※に例示している書類が用意できない場合、①～④が確認できる他

イ 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐	・所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていないため。
--------------------------	---

② 次の内容を確認の上、□にレ印を付けてください。

☒	私の世帯は、現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助は受給していません。
-------------------------------------	--

必ず確認し、レ印を記入してください。

・()に記入している、基準日現在15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の兄弟姉妹がいる場合は、次の欄に記入してください。

扶養親族の状況	続柄	氏名	生年月日	年齢	職業・学校名(学年)等	奨学給付金の申請の有無		課程	備考
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	
						☐ 有	☐ 無	☐ 通信制 ☐ 専攻科 ☐ 上記以外	

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、奨学給付金の申請の有無欄にレ印を付けてください。

※ 対象生徒の他に、扶養する高校生等がいる場合は、課程欄の該当する箇所にレ印を付けてください。

※ 扶養状況確認のため、15歳(中学校を除く。)以上23歳未満の兄弟姉妹の健康保険証等の写しを提出してください。

※ 健康保険証の世帯主又は扶養者が申請者と異なる場合は、「扶養申立書」を提出してください。

※学校等受付日 年 月 日